

安全データシート

作成日 2009年 6月 5日

改訂日 2024年 4月 1日

1. 化学品及び会社情報

製品名	個人情報保護スタンプ 早撃ちケシポン / 早撃ちケシポンワイド 専用インクカートリッジ
品番	IS-002CM / IS-006CM
コード	37-095 / 37-094
会社名	プラス株式会社
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12F
担当部門	CSR本部 品質保証部
緊急連絡電話番号	03-5860-8005
FAX番号	03-5860-8013
E-mail	env_psc@plus.co.jp
整理番号	G06D0102
推奨用途及び 使用上の制限	スタンプインキ

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない

急性毒性 (経皮) : 分類できない

急性毒性 (吸入: 気体) : 区分に該当しない

急性毒性 (吸入: 蒸気) : 区分に該当しない

急性毒性 (吸入: 粉じん) : 分類できない

急性毒性 (吸入: ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 分類できない

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

授乳に対する又は授乳を介した影響 : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) : 分類できない

誤えん有害性 : 区分に該当しない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない

水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

なし

注意書き

なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : ポリプロピレングリコールとカーボンブラックとの混合物
 成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量 (wt%)	官報公示整理番号	PRTR 法
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	80-87%	7-129	-
カーボンブラック	1333-86-4	10-12%	5-3328	-
バインダー樹脂	-	2-5%	-	-

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じ医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹸で洗い落とす。水痘痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じ医師の診断を受ける。
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。
 医師の手当て、診断を受けること。
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。医師の手当て、診断を受けること。
 予想される急性症状及び
 遅発性症状 : データなし
 最も重要な兆候及び症状 : データなし
 応急措置をする者の保護 : データなし
 医師に対する特別な注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素が有効である。
 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
 特有の危険有害性 : 火災によっては刺激性、毒性ガスを発生させるおそれがある。
 特有の消火方法 : 消火作業は風上から行う。
 周辺の設備に散水して冷却する。
 消火の効果がない場合は散水する。
 消火活動を行う者の特別な : 適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。
 保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。 漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 こぼれた場所は滑りやすいので注意する。 作業に際しては保護具（「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法・機材	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 漏れた液やこぼれた液を密閉式の容器にできる限り集める。 少量の場合は、吸収剤（おがくず・土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。 大量の場合は、土砂など（の不燃物）で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。 用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止策	: すべての発火原を速やかに取り除く。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止） 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	: 火気注意。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 目との接触を避ける。 ミスト、蒸気を吸入しないこと。 取扱い後は良く手を洗うこと。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照
衛生対策	: 取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策	: 保管場所には危険物を貯蔵し、または取り扱う為に必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照
適切な保管条件	: 酸化剤から離して保管すること。 換気の良い湯所で保管すること。
安全な容器包装材料	: 金属製の石油缶やポリエチレン、ポリプロピレン製容器。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度	
ACGIH (2013年度版)	: 設定されていない
日本産業衛生学会 (2019年度版)	: 設定されていない
設備対策	: 屋内作業所での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置することが望ましい。 取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設け、位置を明瞭に表示する。
保護具	

呼吸器の保護具	: 状況に応じ、有機溶剤用マスク等を使用。
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
眼、顔面の保護具	: 側板付保護眼鏡（必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡）
皮膚及び身体の保護具	: 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴
特別な注意事項	: 情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
色	: 黒色
臭い	: 特徴的な臭気
融点／凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: なし（分解）
可燃性	: あり
爆発下限界及び上限界、	: データなし
可燃限界	
引火点	: 210°C以上
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 非該当
動粘性率	: 粘度 600-1000 mPas・s (20°C)
溶解度（水）	: 水に不溶、低級アルコール、グリコールエーテルに可溶
n-オクタノール、	: データなし
水分分配係数	
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 約 1.0 - 1.05
相対ガス密度（空気 = 1）	: 非該当
粒子特性	: 液体のため非該当
その他の情報	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取り扱い条件下では反応しない。
化学的安定性	: 通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	: 高温
混触危険物質	: 強酸化剤、酸塩塩基
危険有害な分解助成物	: 燃焼により二酸化炭素及び一酸化炭素を生成する可能性。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	: ラット LD50 15400mg/kg(カーボンブラック) ラット LD50 2410mg/kg (ポリプロピレングリコール)

経皮	: データなし
吸入	: データはないが常温では吸入の可能性は低い
皮膚腐食性・刺激性	: データなし (分類できない)
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	: データなし (分類できない)
呼吸器感受性	: データなし (分類できない)
皮膚感受性	: データなし (分類できない)
生殖細胞変異原性	: データ不足 (区分できない)
発がん性	: カーボンブラックは IARC のクラス 2 B に分類されるが、印刷インクなどの混合物として IARC のクラス 3 (ヒトに対する発癌性が分類できない) に分類されることから、発がん性区分は分類できないとした。
生殖毒性	: データなし (分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし (分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし (分類できない)
誤えん有害性	: 高粘度のため区分に該当しない

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報	: データなし
成分の環境影響情報	
水生環境有害性 短期 (急性)	
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に列記されていないため分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。
汚染容器・包装	: 容器を洗浄してリサイクルするか、廃棄する場合は、内容物をできるだけ除去後に処分する。これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないと排出してはならない。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規則

- 陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）：区分に該当しない
海上輸送（IMO の規定に従う）：区分に該当しない
航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）：区分に該当しない

国内規則情報

- 陸上規制情報：消防法の規定に従う
海上規制情報：区分に該当しない
海洋汚染物質：区分に該当しない
航空規制情報：区分に該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

- 消防法：危険物第4類第4石油類
労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物および有害物
カーボンブラック（政令番号 130）
名称等を表示すべき危険物および有害物
カーボンブラック（政令番号 130）
化管法（PRTR法）：該当しない
船舶安全法：該当しない
航空法：該当しない

16. その他の情報

記載内容は安全にご使用頂く為の情報提供であって、保証するものではありません。

また、注意事項は通常の取扱を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。